



2018年12月現在、日本泌尿器科学会の泌尿器科専門医5名、日本透析医学会の透析専門医2名、日本麻酔科学会の麻酔専門医1名が診療にあたる。急性期病棟(50床)に加え、入院を要する透析治療や泌尿器がんの緩和ケアなどに対応する障害者病棟(50床)を備える

泌尿器科全般に対応し地域医療に貢献 より負担の少ない最新治療の提供に努める

1988年の開院以来、泌尿器科領域の治療に特化した病院として約30年にわたり地域医療に貢献してきた。18年4月には泌尿器科病院としては先進的な取り組みとなるリハビリテーションの提供を開始。入院期間中の機能維持や在宅移行に向けた機能回復を目指しながら、幅広いニーズに対応する。

尿路結石症、前立腺肥大症、過活動膀胱、泌尿器がんなど泌尿器科全般の診断・治療を行うが、中でも尿路結石に対しては、通院治療

が可能な体外衝撃波腎尿管結石破砕術(ESWL)、軟性内視鏡と最新のレーザーを組み合わせた尿路結石碎石術(PNL、TUL)など、患者一人ひとりの病状に応じた集学的な結石治療を実践する。

18年5月、前立腺肥大症に対する最新の内視鏡手術「接触式レーザー蒸散術(CVP)」を導入。これは肥大した前立腺組織(腺腫)に光ファイバーを接触させ、レーザーを照射して腺腫を蒸発させる手術(保険適応)。出血がほとんどない低侵襲な術式で、丸晋太郎理事長は「これまで抗血栓療法中で治療が難しかった心臓病や脳疾患の患者さんでも薬を中止せず手術が行えます。また、肥大が軽度で手術適応にならず、薬物療法でも症状が改善されなかった患者さんにも、有効な場合もある」と説明する。

「たとえ同じ病気でも、同じ患者さんというのとは一人としていません。患者さんの病状や生活環境を十分理解した上で、『全ては病気で困った人のために』という姿勢で、その患者さんの病状に応じた治療を提案したい」と丸理事長。「患者さんに最善の医療を提供するため



18年4月から開始したリハビリ療法は、知識・経験豊富な理学療法士が中心となって、きめ細かなサービスを提供する



CVPの手術風景。18年5月～12月の症例数は約40件。心臓や脳に合併症を持つ患者や薬物治療で改善が見られない患者にとって朗報となる

には、チームワークが一番重要だと考えています。医師や看護師はもちろん、当院に携わる全職員が笑顔で働くことができるようにしたいと思っています」と語る。

人工透析のベッド数は、分院である「澄腎クリニック」とあわせて108床を有し、入院透析、外来透析、夜間透析、臨時(旅行)透析を随時受け入れている。18年度(1月～12月)は、230人の透析治療を行なっている。

理事長 丸 晋太郎



2003年獨協医科大学医学部卒業。13年北海道大学大学院医学研究科医学専攻博士課程修了。帯広厚生病院、市立札幌病院を経て、16年に仁楡会病院理事長に就任。日本泌尿器科学会指導医・専門医。医学博士

INFORMATION

所在地 札幌市南区澄川2条1丁目3-8 ☎011-814-9911
診療科目 泌尿器科(人工透析)、血管外科、麻酔科(城野 早苗医師)
診療時間 月・火・木・金 9:00～(受付8:45～11:30)
13:30～(受付～17:00)
水・土 9:00～(受付8:45～11:30)
※水のみ予約制

休診日 日、祝日
駐車場 有(55台)
アクセス 地下鉄南北線「澄川駅」西出口から徒歩5分

理事長 丸 晋太郎
院長 松村 欣也
H P <http://www.jinyukai.or.jp/>

